



August 2017

難民キャンプ改善計画をもとに、パイロット事業を選定

アクバットジャバルキャンプの改善計画(CIP)が完成

PALCIP（難民キャンプ改善プロジェクト）では、最初のパイロット事業実施キャンプとして選定されたアクバットジャバルキャンプにて、2017年3月より、キャンプ改善のための住民参加型計画策定を行ってきました。

キャンプ改善計画の策定は、パレスチナ解放機構(PLO)難民局(DoRA)の主導の下、立場の異なるキャンプ住民の代表からなるフォーラム（CIF）が、キャンプの人々の生活状況やニーズを取り纏め、それを基にこの先5年から10年のキャンプの在り方を話し合い、ビジョンと戦略目標を設定し、目標達成の為に必要なアクションを特定するというプロセスで行われました。これらを取り纏め、アクバットジャバルキャンプでのキャンプ改善計画が完成しました。CIFでの議論はすべてウェブサイトなどで住民向けに公開され、ニーズリストへの意見公募では、キャンプ住民から107の意見が寄せられました。

パイロット事業の選定

完成したアクバットジャバルキャンプでの改善計画をもとに、PALCIPではJICA専門家チームとDoRA、CIFメンバーで協議を行い、優先順位が高い活動で、且つ現時点で実現可能なアクションを選定し、JICAの予算で実施する2つの事業を選定しました。この2つの事業は、「公共施設への障害者等のアクセシビリティ向上」を目的としたインフラ整備事業と、「青年のライフスキル向上」を目指すソフト支援の活動です。これらの事業は今後、CIFの協力の元、専門家チームとDoRAにより詳細な設計やプログラムが生まれ、実施されていきます。

キャンプ改善計画(CIP)とパイロット事業の発表

アクバットジャバルキャンプでの改善計画やパイロット事業の概要は、2017年7月に開催されたDoRAによる住民説明会にて発表され、ウェブサイト等でも公表されました。

